

ベラルーシ共和国の柔道競技におけるスポーツ等級制度の在り方：  
講道館システムとの比較と問題

仲田直樹<sup>1)</sup>

The Nature of unified sports classification in Judo in the Republic of Belarus :  
Comparison with Kodokan system and problems

Naoki NAKATA<sup>1)</sup>

Key words : Olympics, World Championships, Soviet Union

キーワード：オリンピック，世界選手権，ソビエト連邦

---

1) 仙台大学

〒989-1693 宮城県柴田郡柴田町船岡南 2-2-18

## 1. 緒言

身分や地位などを称える称号文化の歴史は長く、現在では多くの組織・集団の中で用いられている。例えば、君主号、学術称号、資格称号があげられ、スポーツ界でも大相撲の番付や、武道の範士・教士・錬士、将棋の名人、王将、王位などがある。

ソビエト社会主義共和国連邦（以下「ソ連」と略す）のスポーツ称号は、1934年にソ連中央執行委員会により創られた（Введенский, 1952；里見, 1991）。その後、25年の歳月が流れ、1959年にソ連スポーツ等級制度として確立された。その目的を里見（1991）は、「第1に若い世代の身体的完成の達成、祖国の労働と防衛の向上、大衆スポーツとソビエトスポーツマンの技能向上を助長する」とあげている。さらに里見（1991）はこの制度について「物資・経済共に発展の途上にあったソビエトにとって、名誉という精神的見返りをもってスポーツマンの意欲を駆り立てるしか他に、スポーツを強化する道は無かった」とあげている。

一流のスポーツ選手は名誉マスタースポーツ（以下「ЗМС」と略す）、国際マスタースポーツ（以下「МСМК」と略す）、マスタースポーツ（以下「МС」と略す）などの称号で称えられる。また、優れた指導者やコーチ、トレーナー、監督には、国家功労トレーナー、またはソ連功労トレーナーといった称号

が付与される (Сосновский and Чайковскийч, 1979a).

これらの称号を冠するためには、各競技に定められた条件を満たす必要があり、高い能力と競技成績が求められる。ボクシング、フェンシング、格闘技種目などは、大会での好成績や特定の競技者に勝利を収めることによって得られる。一方、陸上競技、水泳、重量上げなどは、定められた大会順位と記録達成の両方を必要とする場合がある (Сосновский and Чайковскийч, 1979b)。

1991年ソ連崩壊後、ソ連スポーツ等級制度は独立した国で各々に確立された。ベラルーシ共和国 (以下「ベラルーシ」と略す) もその例外ではなく、ソ連スポーツ等級制度の基準に倣い、1996年にベラルーシ独自の制度 (以下「ベラルーシスポーツ等級制度」という) が創られた。それは、1997年から2000年までの試行期間を経て、2001年に正式に採用されることとなった。

しかし、競技成績のみを称号の取得の条件とするスポーツ等級制度は、ソ連時代からいくつかの問題が存在していた。例えば、オリンピック入賞者に授与される報奨金と、それに付随する諸特権に対して国民の批判が高まり、さらに、トップ選手の間からも報奨金の格差に対する不満が高まっていた。また、労働組合を財源とする任意スポーツ団体は、ソ連全土にスポーツ施設を建設し充実させたが、最新の施設は各地の優秀選手の強化訓練に優先使用されたため、施設経営に対する国民の不満が広がった (里見, 1997)。ベラルーシの柔道競技も同様に、現在いくつかの問題が浮上している。本稿は文献調査により、柔道競技のベラルーシスポーツ等級制度の取得条件を明らかにし、その問題点について検討する。

本稿では、スポーツ等級制度の取得条件について、ヴェリャンコ、アルチョメンコ、そしてネレーダらの史料を確認した。筆者は、2018年より活動の拠点をベラルーシに置いており、基本的なロシア語を理解している。加えて、ロシア語から日本語へ正しく翻訳するためのサポート体制は十分に整っており、正確に翻訳することが可能である。

## 2. スポーツ等級制度について

### 2.1 スポーツ等級制度における称号

スポーツ等級制度の称号ランクを表1に示した。ベラルーシスポーツ等級制度の称号は、ソ連スポーツ等級制度からそのまま引き継いでおり、いずれも表1のとおりである。また、下記に示す全種目を通じた一般的な称号の意義も両者は同じである。

ЗМС は、スポーツ等級制度における最高の称号であり、МСМК 保持者が競技引退後に昇格する場合がほとんどである。そのためには、各競技団体が推薦書を作成し、最終的に中央執行委員会に承認されなければならない。ЗМС には、①積極的にスポーツ文化の発展に寄与すること、②社会活動へ参加すること、③自身の経験を後世に伝えること、④政治意識が高いこと、労働意欲が秀でていること、などが求め

## ベラルーシの柔道競技におけるスポーツ等級制度

られる。そして、自身が従事している競技全ての催しへの参加と、あらゆるスポーツ施設が無料で使用できる (Сосновский and Чайковский, 1979a)。

スポーツ等級制度は、世界における競技記録の向上に応じ、四年ごとに取得条件が見直される。さらに、称号を授かる候補者は高い競技成績だけでなく、それに相応しい人物でなければならない。そのためにも、スポーツ倫理の規範も厳格に順守しなければならない。もし、スポーツ称号を有する者が倫理規範に反した場合、称号を剥奪される可能性もある (Сосновский and Чайковский, 1979a)。

ベラルーシスポーツ等級制度は、青少年スポーツ学校やフィギアスケートオリンピック学校、およびトップアスリートスポーツ団体の入校における基準にもなっている (Грищенко, 2007)。図 1, 2 は МСМК と МС のエンブレムである。

表 1 スポーツ等級制度における称号

略記	称号名 (ロシア語)	称号名 (日本語)
ЗМС	заслуженный мастер спорта	名誉マスタースポーツ
МСМК	мастер спорта СССР международного класса	国際マスタースポーツ
МС	мастер спорта СССР	マスタースポーツ
КМС	кандидат в мастера спорта	マスタースポーツ候補
1СР	спортсмен I разряда	一級スポーツ選手
2СР	спортсмен II разряда	二級スポーツ選手
3СР	спортсмен III разряда	三級スポーツ選手
1СЮР	спортсмен I юношеского разряда	一級青年スポーツ選手
2СЮР	спортсмен II юношеского разряда	二級青年スポーツ選手
3СЮР	спортсмен III юношеского разряда	三級青年スポーツ選手
4ПР	присваивается и IV разряд	四級スポーツ選手
ЗТР	заслуженный тренер республики	国家功労トレーナー
ЗТ	заслуженный тренер СССР	ソ連功労トレーナー



図 1 МСМК のエンブレム



図 2 МС のエンブレム

## ベラルーシの柔道競技におけるスポーツ等級制度

### 2.2 柔道競技におけるスポーツ等級制度

#### 2.2.1 ソ連スポーツ等級制度

表2は、1993年から1996年までベラルーシの柔道競技で採用されたソ連スポーツ等級制度のMCMKとMCの取得条件（Бебянко, 1993）である。ベラルーシ独立後もしばらくは、ソ連スポーツ等級制度が用いられていた。MCMKまたはMCを取得するための大会は、全て国際柔道連盟かヨーロッパ柔道連盟が主催していなければならない。MCMKを取得するための大会には、直近のオリンピック、世界選手権、ヨーロッパ選手権のいずれかの大会で5位に入賞している選手の国が、3カ国以上出場していなければならない。成績の基準は、オリンピックで7位以内、世界選手権で5位以内、ヨーロッパカップで3位以内、Aランクの国際大会とベラルーシ選手権でそれぞれ2位以内、ヨーロッパ選手権（U-20）または世界選手権（U-20）で1位のいずれかである。

MCを取得するための成績は、世界選手権（U-20）、ヨーロッパ選手権（U-20）、世界学生選手権、世界団体選手権、ベラルーシ選手権で3位以内、ソ連OPEN大会で1位のいずれかである。これらの大会では、順位だけでなく勝利数にも規定が設けられている。ベラルーシ選手権では3回以上、その他の国際大会では2回以上勝利した上で、上記の成績を収める必要がある。なぜなら、大会によっては参加人数が少ない場合、1勝したのみで2位以上の成績を収めることが可能であるためである。

また、MC取得のためのベラルーシ選手権には、さらに詳細に参加者の規定が設けられている。以下の4項目のうち、いずれかに当てはまらなければ3回以上勝利し、かつ3位以内に入賞しても取得とはならない。①3名のMCが参加していること。②60kg級と+95kg級においては、2名のMC、4名のKMCが参加していること。③8名のKMCが出場していること。しかしこの場合は、2位までに入賞することがMC取得の条件となる。④年齢制限のあるベラルーシ選手権においては、6名のKMCの選手が参加していること。このように、大会の順位だけでなく、参加者や国のレベル、人数が一定の水準を上回っていることなどをMCMKとMCの取得条件に課すことで、その称号の価値を保とうとしているのである。

表2 ソ連柔道スポーツ等級制度（1993-1996年施行）

称号	大会名	順位	主管
MCMK	オリンピック	7位以内	EJU または IJF
	世界選手権	5位以内	
	ヨーロッパカップ	3位以内	
	Aランクの国際大会+ベラルーシ選手権	2位以内	
	ヨーロッパ選手権（U-20）、世界選手権（U-20）	1位	
MC	世界選手権（U-20）、ヨーロッパ選手権（U-20）、世界学生選手権	3位以内	
	世界団体選手権、ベラルーシ選手権※条件付き		
	旧ソビエト連邦OPEN大会※条件付き（4カ国以上の参加が必須）	1位	

## ベラルーシの柔道競技におけるスポーツ等級制度

### 2.2.2 ベラルーシスポーツ等級制度

表 3 は、1997 年から 2000 年の試行期間に柔道競技で採用されたベラルーシスポーツ等級制度（Артемченко, 1997）であり、実際に 2001 年からも本格的に採用された。本来スポーツ等級制度は四年ごとに見直されるが、この取得条件は 2016 年までほとんど変わることがなかった。紙面の関係で詳細は割愛するが、MCMK や MC を取得するには、従来までと同じく大会での成績だけでなく、参加者・参加国にも厳しい条件が課せられている。出場選手のランクの確認は、大会前日の監督会議で相互に確認されることがほとんどである。

表 3 ベラルーシ柔道スポーツ等級制度（1997-2000 年施行）

称号	大会名	順位	主管
MCMK	オリンピック、世界選手権	7位以内	EJU または IJF
	Aランクの国際大会	5位以内	
	世界ジュニア選手権、欧州選手権	3位以内	
	ミニタリーワールドゲームズ、ユニバーシアード、世界学生選手権 欧州カップ、欧州ジュニア選手権、欧州学生選手権		
MC	ミニタリーワールドゲームズ、ユニバーシアード、世界学生選手権	7位以内	
	世界ジュニア選手権、欧州選手権、欧州学生選手権	5位以内	
	欧州ジュニア選手権		
	欧州選手権（17歳以下）、ベラルーシ選手権、ベラルーシカップ	3位以内	
	欧州ジュニアカップ、ベラルーシ学生選手権	2位以内	
	ベラルーシジュニア選手権	1位	

新たに新設されたベラルーシスポーツ等級制度は、従来のソ連スポーツ等級制度と比べ、若干ではあるが取得条件が緩和されている。例えば、世界選手権は 5 位以内から 7 位以内へ緩和された。さらに、5 位以内で MCMK を取得できる大会は世界選手権のみであったが、A ランクの国際大会や世界ジュニア選手権、欧州選手権などが追加された。しかし、2017 年（表 4）に更新された取得条件（Нереда et al, 2013）は、再び厳しいものに変更された。これは、称号をより権威あるものにするためと推察する。

表 4 ベラルーシ柔道スポーツ等級制度（2017-2020 年施行）

称号	大会名	参加国数	参加者数	順位	主管
MCMK	オリンピック、世界選手権、マスターズ	8ヵ国以上	男子24人以上、女子16人以上	5位以内	EJU または IJF
	グランドスラム大会、グランプリ大会	8ヵ国以上	男子24人以上、女子16人以上	3位以内	
	UEJもしくはIJF主催の国際大会（団体戦）	8ヵ国以上	制限なし	3位以内（2勝以上）	
MC	オリンピック、世界選手権、マスターズ	制限なし	男子24人以上、女子16人以上	9位以内	
	グランドスラム大会、グランプリ大会	制限なし	男子24人以上、女子16人以上	7位以内	
	国際大会	制限なし	MC 3 人、MC2人+KMC5人	3位以内	
		制限なし	MC1人+KMC6人、KMC8人	3位以内	

### 3. 講道館昇段制度の導入と除外

1995年当時、ベラルーシでは、スポーツ等級制度は若い世代のスポーツ選手にとって魅力的なものであった。そしてそれは、テレビゲーム中毒者やストレスを抱える若者の問題を解決する手段にもなり、柔道を始めるきっかけともなった（Грищенко, 2007）。

しかし、徐々にスポーツ競技の中から柔道を選択する者が少なくなっていった。そこで同年、ベラルーシ柔道連盟は嘉納治五郎によって創られた講道館昇段資格に関する内規に倣い、柔道人口を増やす目的でベラルーシ独自の昇段制度（以下「講道館制度」という）を創った（Грищенко, 2007）。実際に施行されたのは1996年からである。

講道館制度は、競技成績はもちろん昇段の基準に含まれるが、加えて修行年数、形の審査、年齢なども考慮され、老若男女問わず段位の取得を目指せるものとなった。特に「形」は重視された。

そうして1996年以降、ベラルーシの柔道は、スポーツ等級制度と講道館制度を並行して用いていくことになった。しかし、2019年1月、スポーツ観光庁は柔道連盟に対し、全ての国民が理解しやすいよう講道館制度を廃止し、ベラルーシスポーツ制度のみにするよう命じた。そして、講道館制度は排除された。このことについて、元ベラルーシスポーツ観光庁のグリシェンコフは以下の考えをもっている<sup>注1)</sup>。

講道館制度が導入され、今後もあらゆる年齢層の多くの人々が積極的に柔道の活動に参加することが予想された。故に、スポーツ制度を重んじ、講道館制度を廃止することは誠に遺憾である。なぜなら、スポーツ制度は、輝かしい成績を収める一部のトップアスリートのみを対象としているからである。クラブは、スポーツ選手だけでなく、お年寄りや子供たちみんなが使用できることが理想である。監督やコーチが強さだけを求め、指導に励むことが懸念される。

なお、グリシェンコフは従来のように、両制度を併用していくのではなく、講道館制度のみにすることを推奨している。その理由は、以前より問題視されている八百長問題である。

本稿で述べてきたとおり、自身の称号ランクを上げるためにはその大会に定められた称号ランクの参加者や人数が不可欠な要素となる。その上で、競技成績も伴わなければならないとなれば、求められるハードルが極めて高いことは想像に難しくない。そのため、条件を満たすことのできる称号ランクを保持している選手が数合わせで参加し、仲間に勝たせているという噂は絶えない。このような八百長問題も今後加速していくのではないかと懸念されるため、ベラルーシスポーツ等級制度を廃止するべきだとグリシェンコフは考えている。

## ベラルーシの柔道競技におけるスポーツ等級制度

一方、ベラルーシ国立体育大学のマニノフは、両制度を併用していくべきだと考えている<sup>注2)</sup>。講道館制度を引き戻す必要がある理由はグリシェンコフと同じであり、強さだけを求めるのではなく、多くの人々に柔道を楽しんでもらいたい思いがあるという。しかし、スポーツ制度はソ連時代からの伝統ある称号であり、今後のベラルーシ柔道界全体の競技力向上のためにもなくてはならないと考えている。

### 4. 結語

本稿では、スポーツ等級制度の意義および講道館制度の廃止に伴う問題点を整理することで結語とする。ソ連スポーツ等級制度はもともと、物的な報奨を与えることが困難な時代に、名誉という精神的な見返りをもって国民の競技力向上意欲を駆り立てる目的で創られた（里見，1991）。しかし、競技成績のみを重んじるこの制度は、ベラルーシの柔道界においていくつかの問題が浮上している。

1点目は、講道館制度が廃止されたことにより、再び競技成績のみを重視した選手やコーチが増えることが懸念されることである。また、お年寄りや子供たちが楽しく柔道をできる機会が減少することも危惧される。

2点目は、称号ランクをあげるために行われる八百長問題である。称号ランクの権威を維持するために厳しい条件を設けた柔道のベラルーシスポーツ等級制度は、相手に勝利を譲っている場合があるのではないかと取りざたされるようになっている。

2021年12月現在、ベラルーシでは柔道の底辺拡大を目指す指導者たちが、再び講道館制度を戻すよう働いている。彼らは2021年8月までにスポーツ観光庁に原案を提出している。2022年の始めごろから新たなシステムが施行される。次報にて両者の見解を分析し、考察したい。

### 注

- 1) 2020年4月27日、メールにてグリシェンコフから本件について意見をもらった。なお、本研究の趣旨を伝え、意見を記す了承を得ている。
- 2) 筆者とマニノフは常に連絡を取れる間柄であり、本件に関しても多くの話し合いをしている。マニノフからも同様に、意見を記す了承を得ている。

### 文献

- Артеменко. Г. Д (1997) Единая спортивная классификация Республики Беларусь 1997-2000 гг  
Министерство спорта и туризма Республики Беларусь : 7-12.
- Введенский. Б. А (1952) БОЛЬШАЯ СОВЕТСКАЯ ЭНЦИКЛОПЕДИЯ(16), Государственное

## ベラルーシの柔道競技におけるスポーツ等級制度

научное издательство«БОЛЬШАЯ СОВЕТСКАЯ ЭНЦИКЛОПЕДИЯ» : 483.

Бебянко . М . С ( 1993 ) ЕДИНАЯ СПОРТИВНАЯ КЛАССИФИКАЦИЯ 1993-1996 гг ,

Государственный комитет по физической культуре и спорту Республики Беларусь : 65-66.

Грищенко . В . Н ( 2007 ) ПРАКТИЧЕСКОЕ ПРИМЕНЕНИЕ РАЗДЕЛОВ СПОРТИВНОЙ

КЛАССИФИКАЦИИ В ДЗЮДО РЕСПУБЛИКИ БЕЛАРУСЬ : 4-6.

Нереда . С . М , Дубковского . А . С , Емельянова . И . Ф and Сержанина . И . И ( 2013 ) ЕДИНАЯ

СПОРТИВНАЯ КЛАССИФИКАЦИЯ РЕСПУБЛИКИ БЕЛАРУСЬ 2013-2016гг ,

Государственное учреждение«Республиканский учебно-методический центр физического воспитания населения» : 54-59.

里見悦郎 ( 1991 ) 最新ソビエトスポーツ研究—その歴史と制度—. 不味堂出版.

里見悦郎 ( 1997 ) 新ロシアスポーツ研究—新生ロシアスポーツ体制の成立過程—. 不味堂出版.

Сосновский . И . Ю and Чайковский . А . М ( 1979a ) : ЭНЦИКЛОПЕДИЧЕСКИЙ СЛОВАРЬ

ЮНОГО СПОРТСМЕНА, Педагогика : 162-164.

Сосновский . И . Ю and Чайковский . А . М ( 1979b ) : ЭНЦИКЛОПЕДИЧЕСКИЙ СЛОВАРЬ

ЮНОГО СПОРТСМЕНА. Педагогика : 331-332.

( 2022 年 1 月 8 日 受付 / 2022 年 2 月 4 日 受理 )